

# 関西支部だより

関西支部活動報告 第11号

発行 2016年5月

編集 公益財団法人がんの子どもを守る会  
関西支部

## 「国際小児がんの日」キャンペーン&募金活動

●2016年2月21日(日) ●大阪・四天王寺境内にて

去る2月21日(日)、大阪・四天王寺において、小児がんという病気の存在を広く知ってもらうためのキャンペーンと募金活動を行いました。2月15日は「国際小児がんの日」、そのことにちなんで毎年四天王寺様のご協力をあおぎ、ご参詣の多くの方々に関心を持っていただくために行っています。

今回で三回目となる募金活動ですが、毎回多くの方々に関心をもっていただき、あたたかいお言葉をかけていただくなど、回を重ねるごとに私たちも手応えを感じ取っています。

手渡すティッシュなどを用意していましたが、おかげで昼過ぎにはほとんどなくなってしまい、また多額の募金をいただいたこと、感謝の一言です。

皆様の善意は小児がんの子どもたちのために、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



## 七夕まつり

●2015年5月31日(日) 13:00~16:00 ●アフラック ペアレンツハウス大阪にて



「願いごとを星にかなえてもらおう」ということで、昨年の5月31日(日)、ペアレンツハウス大阪で少しばかり早い七夕飾りを作りました。

参加したのは13~20代のサバイバーたち、各々の願いごとを短冊にしたためて笹の木に飾りつけ。ご覧のようにきれいに仕上がりました。ペアレンツハウス大阪の入り口に飾っていたので、目にした方もいるのでは？

今年も企画していますので、決まりましたら、またお知らせいたします。

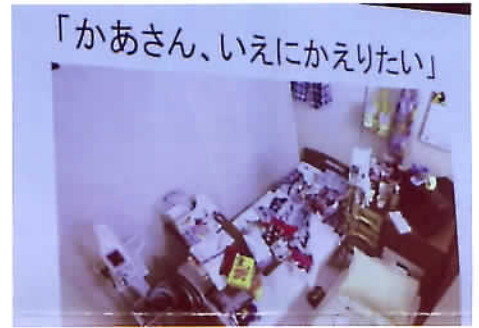
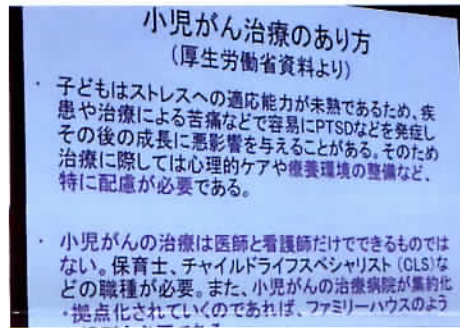
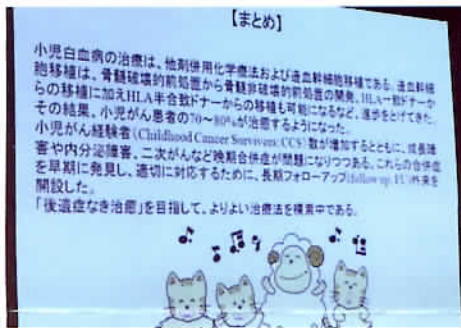


## 「のぞみトークきんき 2015」

- 第1日・2015年6月6日(土) 12:30～15:30 第2日・6月21日(日) 13:30～15:30
- アフラック ペアレンツハウス大阪にて

2015年6月6日(土)、6月21日(日)の二回に分けて「のぞみトークきんき 2015」を開催しました。

今回は日程を分けて行い、会場は前回と同じくアフラック ペアレンツハウス大阪に移しての開催です。



第一日目は大阪府立母子保健総合医療センター・血液腫瘍科の佐藤真穂先生による「小児白血病治療の変遷と晩期合併症—後遺症なき治癒を目指して」、第二日目は、大阪大学大学院の大藪恵一先生の「小児がんの晩期合併症内分泌疾患を中心に」という二つのテーマでの講演会、そして、参加者との質疑応答などが行われました。



## 「第38回 近畿小児血液・がん研究会」

- 2016年2月13日(土) 8:45～17:00
- 近畿大学医学部附属病院 大・小講堂にて

「第38回 近畿小児血液・がん研究会」が近畿大学医学部附属病院において開催されました。

特別講演では『パーソナルゲノム時代におけるiPS細胞研究の展望』と題して、フロリダ大学医学部病理学教授 細胞リプログラミングセンター長である寺田直弘先生から、注目を浴びるiPS細胞の研究過程についての説明と、遺伝子情報を活用した今後のがん治療へのアプローチが期待できる旨のお話がありました。

公開シンポジウムでは『小児・AYA(Adolescence and Young Adult)世代がん さらなる高みを目指して』をテーマとし、療養環境や長期フォローアップ、AYA世代の精神心理学など講師の皆様方から最新の情報が提示され、参加者との積極的な質疑応答等が行われました。

